

令和6年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表 (個人質問)				No.1
会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午前10時～	教育	特別支援教育	①京都府立丹波支援学校が定員を遥かに超える児童生徒学生数となっている。府立の学校ではあるが、本市からも通学している児童生徒学生がいることを踏まえて、現状への所感を伺う。	教 育 長 担 当 部 長
			②本市小中学校での特別支援教育の現状について伺う。	
			③本市小中学校での特別支援教育への基本方針を踏まえて、インクルーシブな教育について今後の方針を伺う。	
			教育先進の地、充実した教育のまちとして移住促進、定住促進へアピールの強化を求める。	市 長 担 当 部 長
	北陸新幹線延伸計画	計画の現状に関する認識	北陸新幹線延伸計画に対する不安、懸念が強まっている。現状に対する市長の所感を伺う。	
		明確に反対表明を求める	市長はこれまでも「来てほしくない」との答弁を本議会においてしている。この際、明確な反対の意思表明を求める。	
	地域振興	特産品の需要喚起について	①高い評価を得ている鮎をもっとPRする事で、ふるさと納税や関係人口の増加が期待できると考えるが、見解を伺う。	
			②収穫時期の差異などにより、本市の四季折々の特産品をPRする機会がない。関係各所にご協力いただき工夫を凝らした特産品イベントを検討できないか。	
		小学校跡地活用について	①小学校統廃合後、概ね10年は市で跡施設の管理をするとされてきたが、今後の計画が決定していない施設については、令和7年度以降の経過措置が示された。2年間の限定措置とされたが、その後の現状及び今後の展望・計画について伺う。	
			②各跡施設について、令和9年度以降に想定される建物の維持管理費用を伺う。	
	行政	市有地の譲渡について	①本市より、園部町り溪の土地を公益財団法人園部町振興公社に無償譲渡され、その後、民間会社へと売却されている。時系列で経過を伺う。	市 長 担 当 部 長
			②合併以降、無償譲渡に向けて土地の境界確定などに多額の経費を費やしてきた。譲渡完了までに要した総額を伺う。	
			③合併以前からの懸案事項であったとしても、時代背景やり溪高原の状況も変化する中において、本市から民間会社へ売却する可能性は検討できなかったのか、またそのような提案もなかったのか伺う。	
			④現在の固定資産税評価額と無償譲渡時の固定資産台帳における簿価を伺う。	
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後1時～	子育て支援	支援の状況と今後の方向性について	⑤り溪高原における、公益財団法人園部町振興公社の担いは本市としてどのように認識されているか伺う。	
			①「出産・子育て応援ギフト」により、経済的支援と伴走型支援を充実させるとのことであるが、その現状と効果は。また問題点はないか。	
			②医療費の助成制度は、年齢によって異なっている。16歳以上は償還払いとなっており、大変不便との声がある。近隣の市町が全額補助となっており同様にとの声も多い。現状をどうとらえているか。	
			③本市の「子宝祝い金」は府内でもかなり充実している。その実績は。また、効果はどのように分析しているか。	
	社会教育	日吉生涯学習センター「遊youひよし」について	④上記の質問を含め、さまざまな子育て支援施策の中で、重点をどこに置くのかを考えるべきではないか。子育て世代にとって必要な施策、人口流出を抑制することのできる施策に対する考えは。	市 長 担 当 部 長
			①11月より改修予定の生涯学習センターは、7年11月30日まで全館休館となる。現在の利用状況は。休館時の利用者の活動場所の確保は。	
			②図書室が休館となることは多くの方に影響がある。代替施設の確保は。	
			③日吉生涯学習センターの改修に合わせて、老朽化した備品の更新はされるのか。	
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後2時～	農業	鳥獣被害及び対策について	①本市の農業における鳥獣被害に対する認識を市長に伺う。	市 長 担 当 部 長
			②現在、獣害対策としてアライグマの捕獲目的で檻の貸し出しを行っている。ハクビシンについても同様の被害が出ており捕獲対象にすべきと考えるが、見解を伺う。	
			③多くの自治体が導入しているアライグマ等緊急捕獲対策協力報奨金制度を導入してはどうか、市長に伺う。	
	教育	休み方改革について	①学生が平日に校外(家庭や地域)で体験や探究の学び活動を自ら考え企画、実行することができる日を設け、子どもは学校が欠席とならない制度を導入してはどうかと考えるが、教育長の所見を伺う。	教 育 長 担 当 部 長
			②休み方改革を行うことで、観光需要の平準化や地域経済の活性化など従業員のワークライフバランスの向上、さまざまな観点から観光産業に新たなチャンスになると考えるが、市長の所見を伺う。	
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後3時～	医療	南丹みやま診療所の医師体制について	この度、新たに上田医師が9月から隔週勤務で働いて頂けることになったが、今後の南丹みやま診療所の医師体制の展望を市長に伺う。	市 長
	福祉	福祉医療費等の今後の方針について	3月議会から約半年が経過したが、福祉医療費等の今後の方針を市長に伺う。また、とりわけ障がい者福祉予算の見直しにおいては、関係機関や関係者の理解を得るように附帯決議されたが、その後の団体等との意見交換などは進んでいるのか伺う。	
	農業	公益財団法人 八木町農業公社の今後について	八木農村環境公園の指定管理期間が令和7年3月31日までとなっている公益財団法人八木町農業公社の今後について市長に伺う。	
	企業誘致	企業誘致について	①現在の企業誘致の状況と課題に対する対応策について伺う。	
	都市計画	JR八木駅東口周辺整備について	②企業誘致の立地は、地域未来投資促進法を活用していくと共に、企業へのアプローチが非常に大切である。立地促進に向けた新しい団地の紹介をMETI土地ナビのPRコーナーに掲載することが可能であると経済産業省地域経済産業政策課にご教授頂いた。本市も取り入れて更なる企業誘致の促進に力を入れていく必要がある。市長の見解を伺う。	
			JR八木駅東口周辺においては、2017年4月22日に地元住民によるJR八木駅東口周辺整備促進協議会の設立総会が行われ、JR八木駅東口の道路や広場の再整備、地域の活性化を促進する目的で今日まで、多くの人々が往来される駅周辺の安全安心な道路整備を求めた要望書が提出されている。過去には、駅前の国道において右折待ちの車が、追突されるなど大変、大きな事故が起きている。また、歩道も狭く注意深く歩行する必要がある、国道や歩道の改良が必要な状況である。こうした状況からも住民が安全安心に通行できる道路整備が大切であり、それには、JR八木駅東口周辺の道路整備の為の事業計画を立てる必要があると考えるが、市長の見解を伺う。	
			8月8日に宮崎県で震度6弱の揺れを観測した。マグニチュード7.1の地震で南海トラフ地震想定震源域で大規模地震が起きる可能性が高まっているとして臨時情報が出され注意喚起がなされた。本市も対象地域に入っている。自然災害はいつ起きるか分からない。	
			①本市における臨時情報への取り組みと、市長の自然災害に対する基本的な考えを伺う。	
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後4時～	防災	避難所運営について	②7月15日の大雨により自主避難をされた。一時避難所の備品等の整備について伺う。	市 長 担 当 部 長
			美山文化ホールの現状について、過日報道機関により詳細に掲載された。冷暖房は修繕困難とのことである。空調設備がないためか昨年の利用は7件とのことである。	
			①ホールの維持管理費は年間どれくらい必要か。	
	施設	美山文化ホールの今後の在り方は	②現状では今後使用できないとすれば、何か代替施設を考えているのか。	市 長 教 育 長
			③ステージを整えた施設として美山小学校体育館があるが、将来を考えて小中一環教育を採用して新しく校舎等を建設し、空いた体育館を利用してはどうか。	
	財務	財政健全化プランについて	昨年10月に南丹市財政健全化プランが策定され、具体的に6年3月議会において関連議案や予算が提案されたところであるが、一部の議案で議会の承認が得られず、令和6年度予算で見直しされたところである。今後のスケジュール等について伺う。	市 長

令和6年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表 (個人質問)				No.2
会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午前10時～	財政健全化	園部町栄町に誘致する子ども園への財政負担	敷地整備、建設費負担、アクセス道の整備等、市の負担はどの程度を見込んでいるのか。	市 長
		誘致する子ども園の立地条件はどうか	誘致する子ども園予定地の保育環境、立地条件等は最適か。	
		園部の公立保育の存続・充実を求める	公立と民間が共存して良質な保育提供へ、園部・城南保育所の閉鎖計画を再考し存続・充実していくよう求める。	
	土地改良区	土地改良区への農家賦課金廃止へのとりくみ	南丹市は府土改連会員であり、市長が南丹支部長である。土地改良事業は土改区のない日吉・美山を含めて市が事業を施行している。農家賦課金廃止への指導を求める。	市 長
		市役所内が自民党の選挙に関与している疑義	市役所内にある土地改良区事務所では、常時、自民党参院議員のポスターが貼られ各種資材が置かれている。市役所内が特定政党の選挙に関与している疑義は即刻根絶を。	
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午前11時～	財政	南丹市財政健全化プランについて	①記録的な猛暑から住民の命を守る取り組みの具体化は、財政力に関わらず優先度は格段に高まっている。学校体育館へのエアコン設置をすすめるよう求める。	担当 部長
			②同様に、熱中症による死亡者が増加している。大半は高齢者。エアコン購入・買い替えへの助成を検討するよう求める。	
			③主な取り組みが当初の7方針から5プラスされ12項目になったが、5項目を追加された考えを伺う。	
			④市債の適正管理についての具体的な考えを伺う。	
	道路	国道477号の市への移管について	③公営企業会計、特別会計操出金の見直しの考えと、今後の公営企業会計、特別会計の考えを伺う。	市 長
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後1時～	公物管理	壊れた公物の復旧について	国道477号バイパスが昨年度完成し、供用開始がされた。京都府においては、現在、現道の国道477号を市へ移管するべく補修工事が実施されているが、市として移管を受け入れる考えがあるのか市長の考えを伺う。	
			又、国道477号バイパス完成・供用開始を市としてどのように捉えているのか市長の所見を伺う。	
			①主な取り組みが当初の7方針から5プラスされ12項目になったが、5項目を追加された考えを伺う。	担当 部長
			②市債の適正管理についての具体的な考えを伺う。	
	公共交通	JRの運行本数の回復に向けた取り組みについて	③公営企業会計、特別会計操出金の見直しの考えと、今後の公営企業会計、特別会計の考えを伺う。	
			④一定の方向性をとりまとめ市民に10月までに知らせると言われているが、一定の方向性とはどのような内容をどのように市民に知らせるのか市長の考えを伺う。	
			報道等によるとJR西日本の収益は大きく改善されてきているとのことであるが、胡麻・園部～亀岡間の削減された列車の運行本数の回復は、未だなされていない。3月議会で「回復に向けてどのように取り組むのか」と私の質問に対し市長は、「どれくらい乗客数があれば運行本数を元に戻してもらえるのかを質していく」とともに、利用促進を訴えるなどの計画も入れて要望活動が続けていきたい」との答弁であった。そこで、以下の点について伺う。	市 長
		園部駅の休憩等の場所・環境の整備について	①市では、3月以降、具体的にどのような取り組みをしてきたのか。また、今後、どのような取り組みを計画しているのか。	
			②先日の新聞報道によれば、亀岡市では、「発言力を高めることを狙い」にJR西日本の株1億円分を取得する方針を明らかにした」とのことである。このことについても3月議会で質問したが、取得に向け予算計上されるなど具体化が進む亀岡市の状況を踏まえ、再度、本市としての考えはどうか。	
			減便や駅構内のコンビニの閉店など、園部駅が一層、寂しくなっている。先日の議会主催の「なんたん未来会議」でも、電車で通学している生徒から異口同音に「電車待ちできる、休めるスペースが欲しい」との意見が昨年同様に数多く寄せられた。これに関して、以下に伺う。	担当 部長
新誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後2時～	まちづくり	まちづくりについて	①園部駅の休憩等の場所の整備に対する市長の考えは。	
			②駅ビルの1階に園部文化観光協会が入っておられるが、文化観光協会と調整して休憩等の場を整備することはできないか。	市 長
	地域振興	地域振興について	①6月定例会の樋口議員の一般質問で「本市が抱える多岐にわたる課題や問題の中で、連鎖の頂点にある本質的問題は」との質問に対し、「土地の規制が非常に多く、思うようなまちづくりができない状況。土地利用の柔軟性をいかに図るかが問題」と答弁されている。本質的問題が明確であるならば、それを解決することで連鎖的に問題が解決されんと料する。再度、本質的問題の認識とハードルは高いが解決に導く所見を伺う。	
			②持続可能な本市を構築するための中長期のシナリオとして、生業を得ていくために必要な働く場所の確保やバランスの取れた産業立地と答弁されている。企業誘致について、これまでの実績と規制を含めた具体的な手法について伺う。	
			③市街化調整区域で計画されている地区計画策定の進捗状況について伺う。	
			④八木駅西土地区画整理事業は面的整備がほぼ完了した。来年6月頃に公告し、その後に換地処分登記が申請され、事業が完結する予定となっている。今後は八木駅西土地区画整理事業区域以外の八木駅西側周辺のまちづくりについて考える時期に来ていると料するが、市長の所見を伺う。	
			①地域振興とは「それぞれの地域の特性を活かしながら、人々が住み、働き、学び、遊ぶといった暮らしの総合的な環境を整え、地域の活力を引き出し、または、創り出していくこと」とされている。そこで市長が考える地域振興について伺う。	担当 部長
			②小規模多機能自治とは、「小規模ながらも、様々な機能をもった住民自治の仕組みのこと。概ね小学校区などの範囲において、その地域に住む、個人・団体が、地域の実情および地域課題に応じて住民の福祉の増進に取り組んでいく方法である」とされている。地域振興の究極的な形態であると思料するが、市長の所見を伺う。	
			③小学校跡地利活用については各地域振興会の皆様が施設の維持管理と共に、もう一つ大きな意義として地域振興を担っていただいている。少子高齢化が進む中で、地域を活性化しようと尽力いただいている振興会の皆様が、現在の市からの提案であれば、これまでの活動を否定していると捉えかねない。地域振興の観点からも、振興会の要望の通り、来年度以降もこれまでと同じ条件で指定管理すべきと思料するが、所見を伺う。	
			④宮崎県日向灘地震の発生に伴い、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発令されたが、本市の対応について伺う。	
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後3時～	防災	防災対策について	②今回の対応における課題は。	市 長
			③災害時の避難困難者への避難への対策は。	
			④避難施設の老朽化に伴う計画的な修繕は。	
	人事	市職員の職場環境について	①市職員のメンタルケアの取り組みは。	
			②本市職員の早期退職者の推移及び主な原因は。	担当 部長
			③嫌がらせ行為や電話等に対し、どのような対応をしているか。カスタマーハラスメント対策は。	
	交通・福祉	交通弱者等への移動支援について	①交通弱者等への移動・買い物支援等の現状について伺う。	
			②今後ますます高齢者の運転免許返納が増加すると考えられる。移動・買い物支援等の更なる充実が必要と考えるが、本市の見解を伺う。	市 長
	教育	学校部活動等について	①近年の気温上昇に伴い、全国的に熱中症による緊急搬送や死亡者が増加しているが、本市の学校部活動等での熱中症対策は。	
			②本市の部活動における地域連携や地域移行の今後の予定及び課題について伺う。	教 育 長
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後4時～	地域振興・観光	全国都市緑化フェアについて	①全国都市緑化フェアin京都丹波の開催まで2年となった。今後、フェアに向けての準備等はどのように進んでいくのか伺う。	市 長
			②令和6年1月に推進協議会から出された基本構想の開催の趣旨のところに、「京都丹波」を広く全国に発信できる機会として、地域全体を盛り上げていきます、と記載されている。具体的には何をどのように盛り上げようとしているのか伺う。	
			③このフェアの本市への経済波及効果は、どの程度を想定しているのか。また、その効果は今後も継続されていくのか伺う。	
	動物愛護・地域振興	猫に優しいまちづくりについて	①「人にも猫にも優しいまち」を目指して始まったにゃんたん市プロジェクトだが、今も「猫に優しいまち」を目指しているのか、見解を伺う。	担当 部長
			②「猫に優しいまち」をつくるという点に関し、市民に十分理解されているのか見解を伺う。	
			③猫の避妊・去勢手術の助成事業については、今後どのようにしていこうとされているのか伺う。	
	交通	駅またはその周辺で電車を待つための施設について	春のダイヤ改正では、増便は実現できなかった。当分はこの状態が続くと思われる。駅又はその周辺で電車を待つための施設があれば、少しはストレスも和らぐのではないかと、見解を伺う。	市 長

令和6年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表 (個人質問)				No.3
会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午前10時～	危機管理	女性防災担当職員および女性・子ども・高齢者の備蓄用品について	国の調査では、2023年12月31日時点で、全国1738市町村の防災・危機管理部署における女性職員の比率は11.5%にとどまっており、5割を越す966自治体では女性職員はゼロとなっている。女性の視点は、避難所運営や備蓄用品にも影響があり、女性や乳幼児向け用品、介護用品の備蓄割合が高い傾向がみられる。本市においても危機管理部署に女性職員の配置が必要であると考えるが市長の見解を伺う。併せて、女性や子供、高齢者が必要とされている備蓄用品の状況について伺う。	市 長 担 当 部 長
	医療	「マイナ保険証」の利用促進に向けた取り組みについて	①本市の「マイナンバーカード」保有者の状況は。 ②令和6年の12月2日から従来の「健康保険証」は新規発行されなくなり、その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行していくようであるが、地域住民が安心して「マイナ保険証」を利用できるよう、利用することの利便性等の正しい情報と保有していない方への対応等を丁寧に発信していくことが必要と考えるが市長の見解を伺う。	
つなぐ 小中 昭 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午前11時～	交通	北陸新幹線延伸について	北陸新幹線金沢－敦賀間が3月16日に開業した。敦賀－大阪間の延伸については、小浜ルート案が現在有力視されている。小浜ルートは延長143kmの8割をトンネルが占め、一部区間では深さ40m以深を掘る工事が予想されており京都市内では地下水を利用する老舗などから反対の声が上がっている。また、小浜ルートは美山町を通過することになり、美山町ではほぼトンネルが予想される。このことを受け田歌の皆さんが2020年に環境保全の観点から懸念を表明し環境影響評価(アセスメント)の受け入れを拒んでこられた。現時点で、小浜ルートについて市長の所見を伺う。	市 長 担 当 部 長
	医療	南丹みやま診療所の医師確保について	本年4月以降も期間を延長して藤岡医師に診療をお世話になっている。中長期的な観点からも新たに着任していただく医師が必要と考えるが、現時点の状況を伺う。	
	危機管理	クマの出没について	今年は例年よりもかなり早くからクマの目撃情報がある。現時点では人的な被害は報告されていない。駆除については府の許可が必要であるが一刻も早い対応が重要である。法的な課題があり困難と考えるが、市の許可で駆除することはできないか伺う。	
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午後1時～	都市計画	JR園部駅周辺の有効活用について	①JR園部駅は本市における通勤や通学の要所として多くの人々が行き来する場所であるが、過去から現在に渡り有効に活かしているとは言えない。これは長期にわたる多大な機会損失であると考えるが、駅周辺の発展が停滞していることに対し、解決すべき課題と今後の展望について伺う。	市 長
			②JR園部駅前は都市計画法における用途地域では「準工業地域」となっている。南丹市都市計画マスタープランに掲げられた「園部駅周辺では商業や保健・福祉など都市機能の充実を図る」という内容との間に齟齬があるのではないかと考えるが、市長の見解を伺う。	
			③JR園部駅周辺における用途地域変更の可能性について伺う。	
			④JR園部駅西口の広場は商業的価値が高いにも関わらず現在は活かされていない。可変性のある広場という特徴を活かしたキッチンカー等の活用推進を提案する。	
	地域振興	地域の特色を活かす学習事業について	建築、工芸、福祉、医療、グローバルと多様な高等教育施設を持つ南丹市の特色をさらに活かすため、本市の産業を活用した、林業、木工、農業、茅葺など、地域の特色を活かした学習事業の展開を提案する。	市 長 担 当 部 長
	情報化推進	デジタルシステム認証制度	民間が開発する南丹市の特色に合わせたデジタルシステムの認証制度を提案する。	
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午後2時～	旧小学校施設	今後の方針について	旧小学校施設の指定管理期間おおむね10年の期限が6年度末になる。市としての取り組みの現状と今後の方針を伺う。	市 長 担 当 部 長
		今後の地域活性への考えについて	様々な選択肢を提示されているが、選択によっては地域の活性化にプレーキをかける恐れがあるように思う。そうなった場合の活性化に向けたプランなり考えはあるのかを伺う。	
	交通	規制解除について	現在、京都府警南丹署管内では、交通規制の見直しにあたり規制箇所の解除が行われている。現状の把握はできているのか。	
		解除箇所のフォローについて	以前から規制があった箇所には、何がしの理由があると考える。解除箇所には管理者による警告看板や表示の設置を考えるべきだと思うが、見解を伺う。	
	農業	農業振興について	本市では約1540の経営体の方々が農業に従事されている。ただ、兼業経営体が約80%を占め、専業・準専業経営体をみても65歳以上の従事率も55%と高い水準にある。こういった現状をふまえ以下2点を伺う。	
			①本市の農業産業を発展させるには、本市の特徴を理解し、他市に負けない特色を出すことが重要だと考える。これからの農業振興に対する考えを伺う。	
			②本市の状況を客観的に見ると、圧倒的に兼業(専・準専業以外)農家が多い。兼業農家に対する支援策を講じるべきだと思うが、市の考えを伺う。	
	消防	待遇改善について	現在、約1200人の団員が活躍いただいている。ただ、市外勤務の方が多く、有事の際の出動に対しても企業の理解を得にくいとも聞く。協力事業所制度もあるが、本市独自の出動理解支援を行うべきと考える。市としての見解を伺う。	